MEINAN

AKASHIMINAMI HIGH SCHOOL NEWS

2026 1

Vol.9

発表

（ポスター　左：2-5 清水　　右：2-3 髙松）

特色ある授業　成果発表

発表者がそれぞれのテーマで、試行錯誤してきた過程や学びの深まりを自分の言葉で堂々と伝える姿が印象的でした。聴衆にしっかり伝わるよう、構成・スライド・話し方まで工夫された発表が多く、会場は発表に聴き入る真剣な空気に包まれました。

1年 産業社会と人間

企業学習

職業人インタビュー

2年 総合的な探究の時間

「MyDishを広めよう」

「主体的な学びとは何か」

3年 課題研究

「見てはいけない夢とその対処法」

「貧困世帯に生まれた子どもの悩みとは」

1年 情報1

AIと対話しながらソフトウェアを作るバイブ・コーディングに取り組み、日常生活の身近な課題を解決するためのアプリを開発しました。

2年 伝統音楽

琴の代表的な調弦である平調子で「桜いろは」を、曲の途中で調子を変え、「やさしさに包まれたなら」を演奏しました。

2年 英語会話

日常会話や表現を発表や作文を通して学んでいます。授業で作成したスライドやテストに挑戦する様子を、動画で表現しました。

2年 理数探究

準備から実施までを生徒たちだけで行った実験の中で見えてきた課題や疑問、そして自ら考えた解決方法について発表します。

3年 スポーツⅣ

曲「Chandelier」は、心の不安や孤独を描いた作品です。それでも強く生きようともがく思いや揺れる感情、葛藤をダンスで表現しました。

3年 ソフトウエア活用

AIと対話しながらソフトウェアを作るバイブ・コーディングに取り組み、日常生活の身近な課題を解決するためのアプリを開発しました。

発表の合間には、明南ナビゲーターによるクイズ企画が行われました。会場は一体となって盛り上がり、校長先生の飛び入り参加に大きな歓声が上がるなど、和やかな雰囲気に包まれました。

特別活動報告

授業での学びにとどまらず、校外との連携や国際的な交流、実社会とつながる実践的な取り組みなど、総合学科ならではの広がりある学びが紹介されました。教室を越えて挑戦してきた経験や、その中で得た気づきや成長が、自分たちの言葉で丁寧に語られました。

国際交流

韓国光陽高校とのオンライン交流や対面交流を通して、互いの学校生活や文化を紹介し合った取り組みが報告されました。国や言葉の違いをこえて理解を深めていく過程が紹介され、継続的な交流の意義が伝わる発表となりました。

音声ガイダンスシステム構築プロジェクト

兵庫県眼科医会と連携し、日本初となる音声ガイダンスシステムの構築に取り組んだプロジェクトの報告がありました。視覚に困りごとのある方が情報迷子にならない仕組みを目指し実社会の課題解決に挑戦した実践的な学びが紹介されました。

FIFA U-17女子ワールドカップ モロッコ 2025

日本代表として世界大会に出場し、大会に向けた準備や現地での経験、競技を通して得た学びについて語られました。世界の舞台で挑戦する姿から、多くの刺激と学びが共有されました。

制作物展示発表

会場内では、各教科や科目での学習成果が展示されました。作品や制作物をはじめ、レポートや資料、探究活動の研究内容をまとめたポスターなど、多彩な成果が並びました。日頃の授業や活動の積み重ねが感じられる展示となり、来場者が足を止めて見入る姿も見られました。

ポスター展示

書道作品

実践数学（算額）

美術作品

文章表現

フードデザイン